TEAC

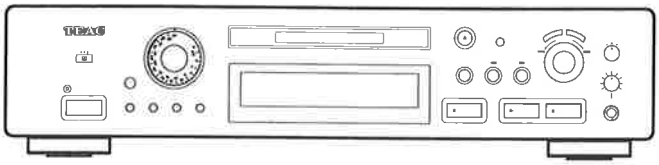
MINIDISC DECK

MD-8

9A06702500

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。



目次

ページ

オーディオ機器の正しい使いかた 2
特長 7
付属品について 7
接続 8
各部の名称 9
- ●前面パネル　●リモコン
- ●ミニディスク(MD)の取り扱いについて

MDを聞く 12
- ●1曲目から聞く(ノーマル再生)
- ●聞きたい曲から再生するには(ダイレクト再生/トラックサーチ/ミュージックスキャン)
- ●聞きたい部分を探すには(サーチ)
- ●ランダムに聞く(ランダム再生)
- ●繰り返し再生するには(全曲リピート/1曲リピート/A−Bリピート)
- ●メモリー再生をする
- ●表示内容を切り換える

録音する 20
- ●アナログ入力を録音する
- ●デジタル入力を録音する
- ●デジタル入力録音時の便利な機能
- ●タイマー再生やタイマー録音をするには
- ●録音した内容を誤って消さないために

編集をする 26
- ●曲を消す(ERASE機能)
- ●曲を分ける(DIVIDE機能)
- ●曲をつなぐ(COMBINE機能)
- ●曲を移動する(MOVE機能)

タイトルをつける 30
- ●曲名やディスク名をつける
- ●曲名やディスク名をつけ直す
- ●リモコンでカタカナを入力するには

メッセージ一覧 34
故障？と思ったら 35
システム上の制約について 36
デジタル録音時のルールについて 37
主な仕様 39
保証とアフターサービス 39

オーディオ機器の正しい使いかた

ご使用の前に

絵表示について

この「取扱説明書」では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜け

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
  煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対、キャビネットははずさない、改造しない

分解禁止

- 本機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対に外さないでください。
  内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
- 本機器を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。
  火災の原因となります。

■ 壁に密着させない

- 本機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。

■ 水のかかるところに置かない

水場での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

- 本機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

- 本機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜け

- 万一、機器の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
  そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠警告

■ 中に物を入れない

電源プラグをコンセントから抜け

● 万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 本機器の内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

電源プラグをコンセントから抜け

● 万一、本機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

接触禁止

● 雷が鳴りだしたら、機器本体や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

■ 乾電池を充電しない

● 乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。

⚠注意

■ 設置上の注意

● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
● 本機器の上に他のオーディオ機器をのせたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
● 本機器の上に10kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 次のような場所に置かない

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
● 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや内部部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

● 本機器を他のオーディオ機器と接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意

● 電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
● ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

● 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。アンプ、スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。
● 本機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
● キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。スピーカーの磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

⚠注意

■ 電源コード、電源プラグの注意

- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

電源プラグをコンセントから抜け

- 旅行などで長期間、本機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 電池について

- 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナスーの向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■ 点検・工事について

電源プラグをコンセントから抜け

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

- 2年に一度くらいは機器内部の掃除をおすすめいたします。もよりの販売店にご相談ください。

  本機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除・点検費用等についても販売店にご相談ください。

- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機器にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し固く絞って汚れを拭き取ったあとに乾いた布で拭いてください。

特長

■ サンプリングレートコンバーター搭載

48 k/32 kHzのサンプリング周波数を44.1 kHzに自動変換するサンプリングレートコンバーター搭載。DAT、CS-PCMやBSからのデジタルダイレクト録音が可能となりました。

■ 2系統デジタル入力

デジタル-1の光デジタル入力、デジタル-2のコアキシャル入力、およびアナログ入力の3系統の録音入力端子を装備。光デジタル出力1系統でのMDとMDのデジタル録音も楽しめます。

■ カタカナ入力に対応した豊富なタイトル入力機能

アルファベット、記号入力に加え、カタカナによるタイトル入力機能搭載。カタカナ入力をリモコンによるローマ字変換で簡単に入力できます。

■ エディット機能(Divide/Move/Combine/Erase)

■ ダイレクト選曲/メモリープレイ/ランダムプレイ/ミュージックスキャン

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

付属品について

ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。

- オーディオ用ピンコード（2）

- リモコン（1）

- 単3形乾電池（2）

- 取扱説明書（1）
- 保証書（1）

（ ）内の数字は数をあらわしています。

音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣近所への配慮を十分しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

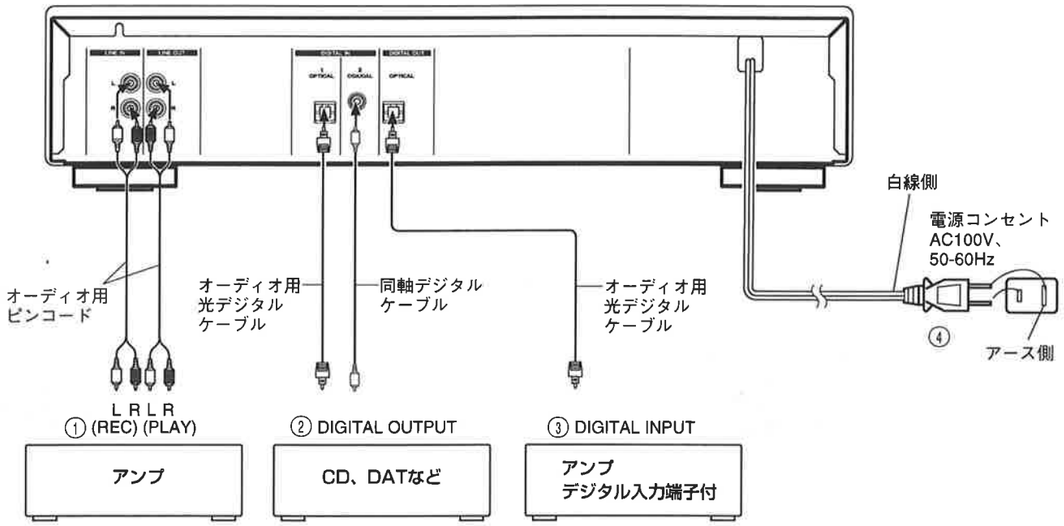
接続

本機には、オーディオ用光デジタルケーブルは付属しておりません。接続には市販のオーディオ用光デジタルケーブルをお買い求めください。

ご注意

●すべての接続が完了してから、電源プラグをコンセントに接続してください。

- 付属のオーディオコード（赤、白プラグ付きピンコード）の赤いプラグは（R）側に、白いプラグは（L）側に接続します。
- プラグはしっかり奥まで差し込んでください。不完全な接続は、雑音や動作不良の原因となります。
- オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねると、音質低下の原因となります。
- MDデッキは、アンプやチューナーアンプの上に置かないでください。
- オーディオ用光デジタルケーブルは、小さく折曲げたり、きつく巻いたりしないでください。



①アンプとの接続

お手持ちのアンプのMD端子（またはTAPE端子）に本機を接続してください。

②デジタル入力端子（DIGITAL IN）の接続

デジタル出力端子（DIGITAL OUTPUT）付きのCD（コンパクトディスクプレーヤー）やDAT（デジタルオーディオレコーダー）などと接続してデジタル録音ができます。
オーディオ用光デジタルケーブルを使って、DIGITAL IN 1端子に接続してください。
同軸デジタルケーブルを使って、DIGITAL IN 2端子に接続してください。

③デジタル出力端子(DIGITAL OUT)の接続

デジタル入力端子（OPTICAL）付きのアンプに接続すると、よりクリアでダイナミックな演奏音が楽しめます。

光デジタル入出力端子保護キャップについて

デジタル入力端子とデジタル出力端子には、保護用キャップが取り付けられています。接続時は、このキャップを取り外してください。使用しない場合、キャップは必ずもとどおりに取り付けておいてください。

- 光デジタルケーブルは端子の形状にあったものをお使いください。

④電源コードの接続

電源コードのプラグを非連動コンセントまたは壁コンセントに差し込みます。

ヒント

より良い音で聞くためには
本機の電源コードは極性が管理されています。電源コードの片側に白線の入っている方を、家庭用電源コンセントの溝の長い方に合わせて差し込んでください。

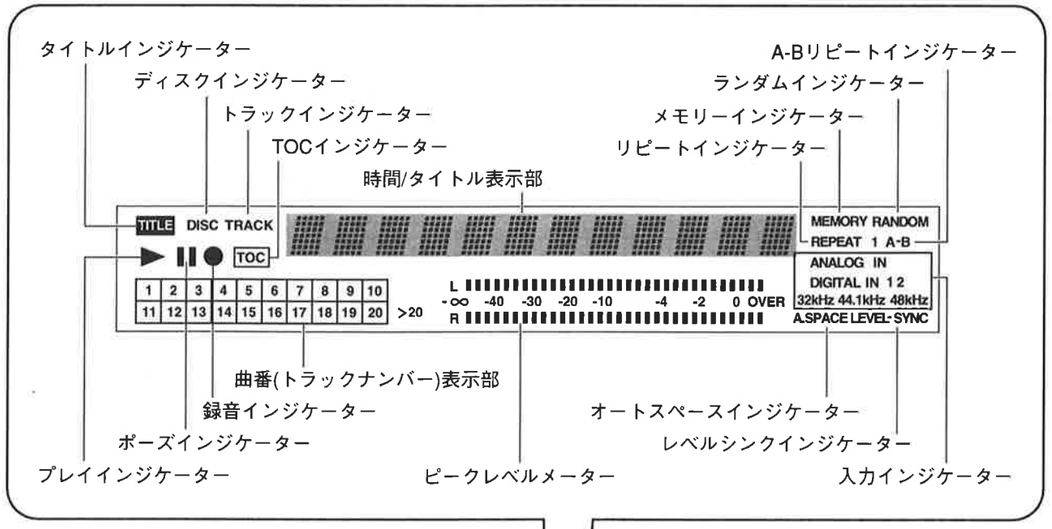
・溝の長さが同じコンセントでは

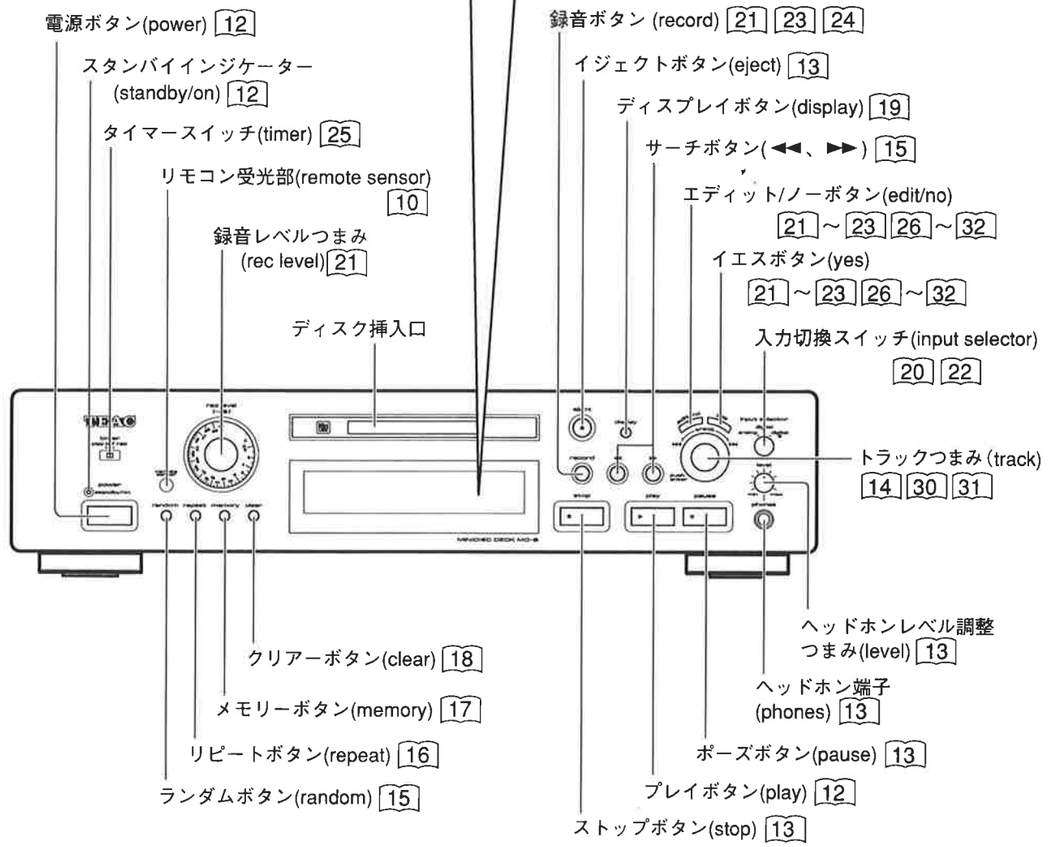
市販の検電ドライバーで判定することもできますが、プラグの差し込みを逆にして音質を聞き比べ、良い方をお選びください。

各部の名称

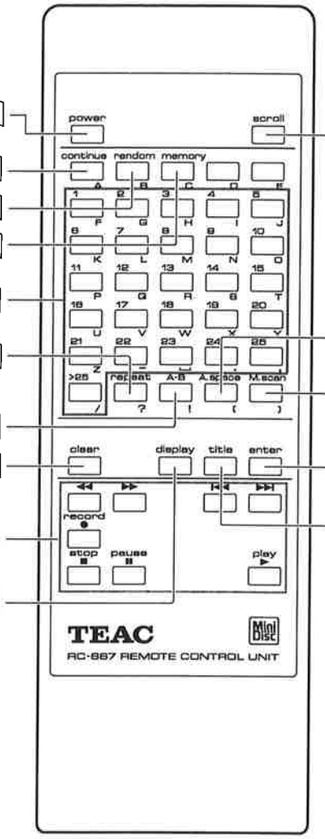
📖 内の数字は詳しい説明のあるページです。

■前面パネル



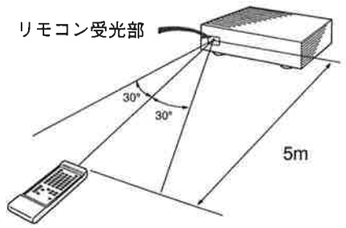


■リモコン



電源ボタン(power) 12
コンティニューボタン(continue) 15 17
ランダムボタン(random) 15
メモリーボタン(memory) 17
数字ボタン 14 31
リピートボタン(repeat) 16
A-Bリピートボタン(A-B) 16
クリアボタン(clear) 18
操作部
ディスプレイボタン(display) 19 30
スクロールボタン(scroll) 12 19
オートスペースボタン(A.space) 18
ミュージックスキャンボタン(M.scan) 14
エンターボタン(enter) 31
タイトルボタン(title) 30

リモコンの使いかた

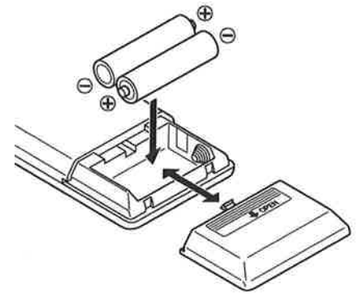


リモコンは本機のリモコン受光部に向けて操作してください。また、途中に障害物があると操作できません。

ご注意

- リモコン受光部に直接日光やインバーター蛍光灯などの強い光を当てないでください。
- 赤外線を発射する機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本などの物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

乾電池の入れかたと交換のしかた



乾電池の寿命は約1年です。リモコン操作の距離が短くなったと感じたら、2本とも新しい乾電池（単3形）と交換してください。

ご注意

- 電池の極性（＋、－）は、表示どおり正しく入れてください。
- 種類の異なる電池の使用は避けてください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐため、電池を取り出しておいてください。

■ミニディスク（MD）の取り扱いについて

MDはカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジの汚れやそりなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。

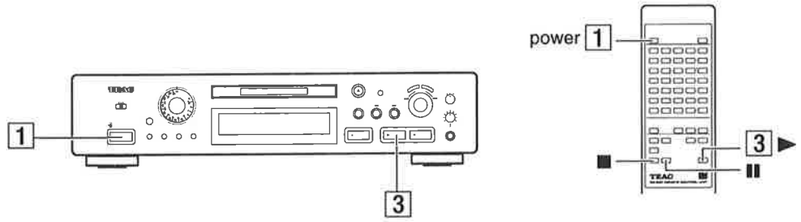
内部のディスクに直接触れないでください
シャッターを手で開けないでください。無理に開けるとこわれます。

置き場所について
直射日光が当たる所など高温の場所や、湿度の高い場所には置かないでください。

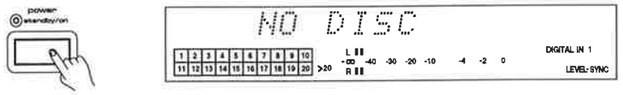
定期的にお手入れを
カートリッジ表面についたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

MDを聞く

■1曲目から聞く（ノーマル再生）

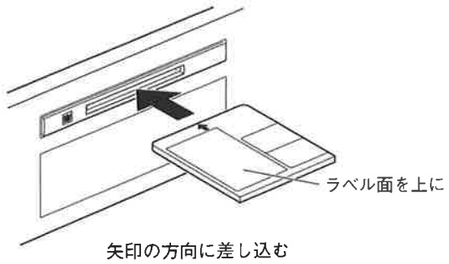


1 電源を入れる。

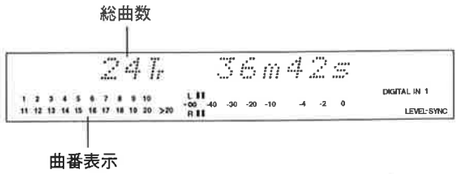


スタンバイインジケーターが消えます。

2 MDを入れる。



矢印の方向に差し込む

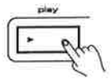


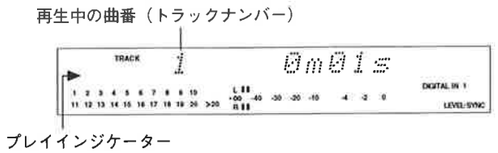
ディスクのTOC（Table Of Contents）情報を読み取ると、ディスプレイにディスクの総曲数と総演奏時間が表示されます。

ヒント

ディスク名（タイトル）が記録されたMDを入れると、ディスプレイにディスクタイトルが表示されます。タイトルが長い場合は、リモコンのスクロールボタンを押して、表示を移動表示させることができます。
再生専用ディスクではトラック番号が、囲みのある表示となります。（例 1 2 ）

3 再生を始める。



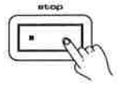


1曲目から再生が始まります。

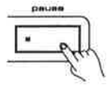
ご注意

録音用MDを再生時、誤消去防止つまみの孔が開いた状態では、再生中に「 Protected !! 」と表示されることがありますが、再生に影響はありません。

再生を止めるには



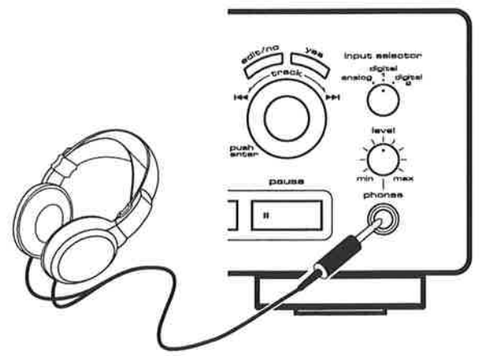
再生を一時停止するには



再び再生するには、プレイボタンを押します。

MDを取り出すには

ヘッドホンで聞くには



ヘッドホンレベル調整つまみで音量を下げてヘッドホン端子にステレオ標準プラグ付きのヘッドホンを接続します。
ヘッドホンレベル調整つまみで音量を調整します。

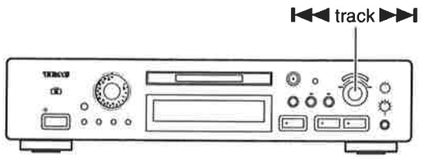
ご注意

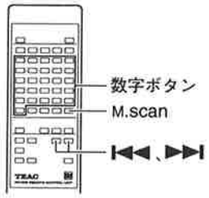
結露について

本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりでなく、MDや部品も痛めてしまいます。本機をご使用にならないときは、MDを取り出しておくことをおすすめします。
結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約1時間放置してからご使用ください。

MDを聞く

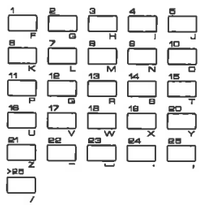
■聞きたい曲から再生するには（ダイレクト再生/トラックサーチ/ミュージックスキャン）

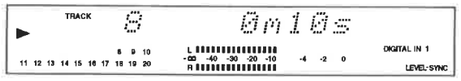




聞きたい曲番を直接選ぶ（ダイレクト選曲）

リモコン





リモコンで、聞きたい曲番の数字ボタンを押します。

ヒント

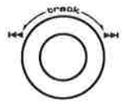
26曲目以上を選ぶには

>25ボタンを押してから、10の位の数、1の位の数の順に数字ボタンを押します。（0は10ボタンで指定します。）

例）30曲目：>25 → 3 →10

100曲目：>25 → >25 →1 →10 →10

聞きたい曲番を選ぶ（トラックサーチ）



再生中にトラックつまみ（またはリモコンのI◄◄/►►Iボタン）で曲を選びます。

再生中の曲を中止して後の曲を選ぶには

●トラックつまみを右に回す。または、

●リモコンの►►Iボタンを押す。

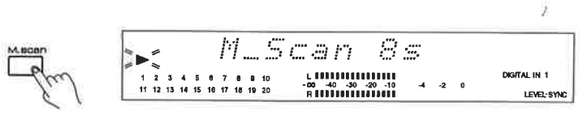
再生中の曲をもう一度頭から聞いたり、前の曲を選ぶには

●トラックつまみを左に回す。または、

●リモコンのI◄◄ボタンを押す。

メモリー再生中に操作するとメモリーされた順に曲番が選べます。

聞きたい曲の頭を探す（ミュージックスキャン）（リモコンのみ）

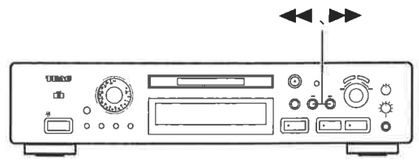


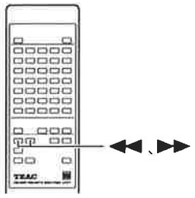
再生中または停止中にリモコンのミュージックスキャンボタンを押すと、曲の頭だけを少しずつ聞くことができます。

►インジケーターが点滅します。

再生したい曲のところで、リモコンのプレイボタンを押すと、その曲からノーマル再生を始めます。

■聞きたい部分を探すには（サーチ）





音を聞きながら探す（再生中）

再生中に◄◄または►►ボタンを押し続け、聞きたい部分で指を離します。

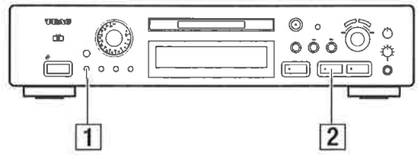
時間表示を見ながら探す（一時停止中）

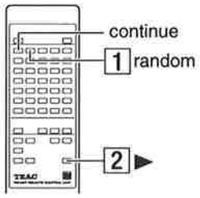
一時停止中に◄◄または►►を押し続け、聞きたい部分の時間表示を確認して指を離します（高速サーチ）。プレイボタンを押すと再生を始めます。

ヒント

「Over !」が表示されたときは、最終曲の終わりです。

■ランダムに聞く（ランダム再生）





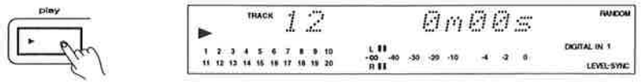
1 ランダムボタンを押す。

停止中にランダムボタンを押して、ランダムインジケーターを表示させます。

リモコンでは

ランダムボタンを押します。

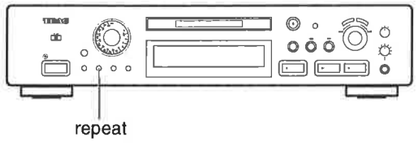
2 再生を始める。

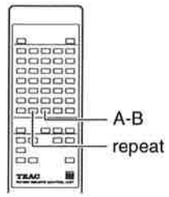


ランダム再生をやめるには

停止中に、ランダムボタンを押します。（または、リモゴンのコンティニューボタンを押します。）

■繰り返し再生するには（全曲リピート/1曲リピート/A-Bリピート）



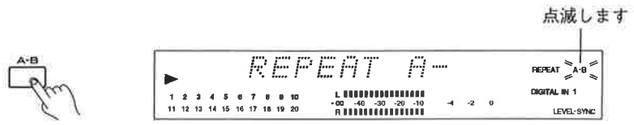


全曲を繰り返す（リピートボタンを1回押す）

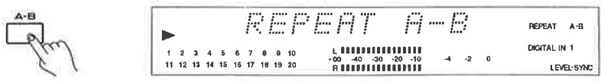
1曲を繰り返す（再生中にリピートボタンを2回押す）

聞きたい部分だけを繰り返す（A-Bリピート）（リモコンのみ）

1 再生中に、繰り返したい部分の始め(A点)でA-Bボタンを押す。



2 繰り返したい部分の終わり(B点)でA-Bボタンを押す。



ヒント

メモリー再生中にリピートボタンを押すと
メモリーした曲だけをメモリーした順に繰り返し再生します。

ランダム再生中にリピートボタンを押すと
ランダム再生で全曲を繰り返すたびに、曲順を入れ換えて繰り返し再生します。

繰り返し再生をやめるには
リピートインジケーターが消えるまで、リピートボタンを押してください。

A位置とB位置の間を繰り返し再生します。

ヒント

繰り返す部分を先に進めるには

1 A-Bリピート再生中にA-Bリピートボタンを2度押します。押した場所が新たにA点になります。

2 再びA-Bリピートボタンを押し、B点を指定します。

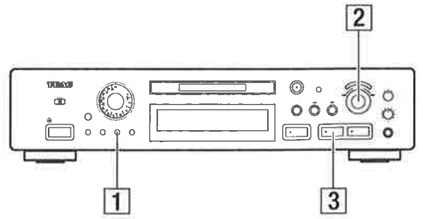
繰り返し再生をやめるには
リピートインジケーターが消えるまで、リピートボタンを押すか、■ボタンを押します。

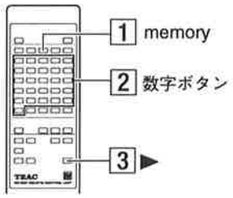
ご注意

A-Bリピートは曲をまたがってはできません。

■メモリー再生をする

25曲までメモリーできます。



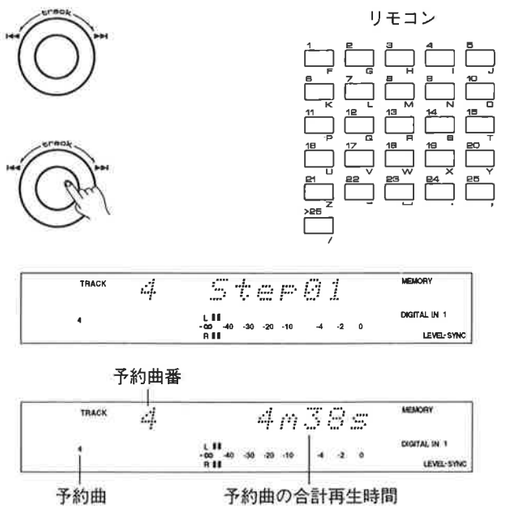


1 メモリーボタンを押す。

停止中にメモリーボタンを押して、メモリーインジケーターを表示させます。

リモコンでは
メモリーボタンを押します。

2 聞きたい曲を聞きたい順に選ぶ。



トラックつまみを回して予約したい曲番を表示させた状態で、トラックつまみを押します。

リモコンでは
聞きたい曲番の数字ボタンを押します。

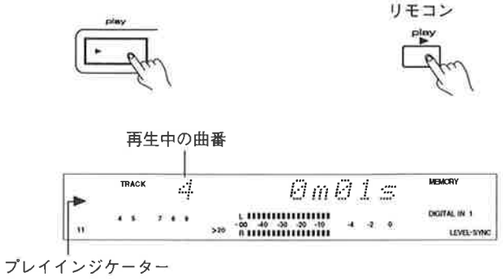
ヒント

26曲目以上を選ぶには
>25ボタンを押してから、10の位の数、1の位の数の順に数字ボタンを押します。（0は10ボタンで指定します。）
例）30曲目：>25 → 3 →10
100曲目：>25 → >25 →1 →10 →10

ご注意

- 予約時間の合計が1000分を越えると、「- - - m - - s」表示になります。
- 極端に短いトラックは、メモリーできないことがあります。

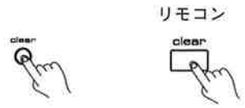
3 再生を始める。



メモリー再生が終わると
予約内容は記憶されたまま、停止状態になります。

メモリー再生をやめるには
停止中に、メモリーボタンを押します。（または、リモコンのコンティニューボタンを押します。）

メモリー内容を取り消すには



メモリー再生停止中にリモコンのクリアボタンを押すたびに、最後の予約曲から取り消されます。

改めてメモリーするには

クリアボタンを押してから、前ページの手順2の操作をします。

すべてのプログラム内容を取り消すには

メモリー再生停止中にメモリーボタンを押します。

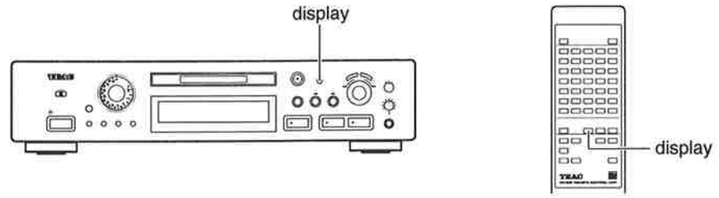
曲間を作る。（オートスペース）（リモコンのみ）

リモコンのオートスペースボタンを押して、オートスペースインジケーターを表示させると、再生時に曲と曲の間に約3秒間の無音部分を作って再生します。

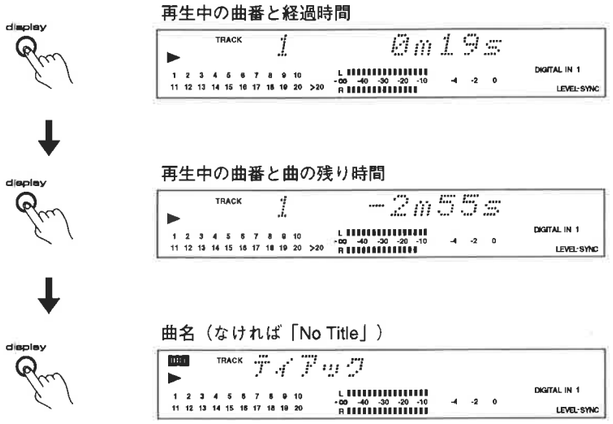
オートスペースをやめるには

再びオートスペースボタンを押して、オートスペースインジケーターを消します。

■表示内容を切り換える



再生中に、ディスプレイボタンを繰り返し押す。



停止状態でディスプレイボタンを押すと、次のように表示が切り換わります。

- ディスクの総曲数と総再生時間
  ↓
- 録音可能な残り時間(再生専用ディスクではディスク名)
  ↓
- ディスク名（なければ「No Title」）

ヒント

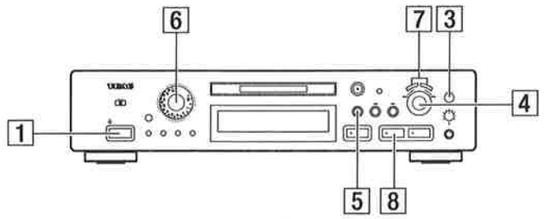
曲名が長い場合は

リモコンのスクロールボタンを押して、表示を移動させます。
もう一度押すと、スクロールが止まります。

録音する

あなたが録音したものは、個人として楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

■アナログ入力を録音する



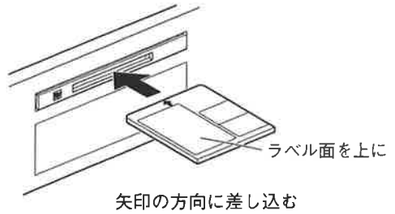
● 「Protected !! 」が表示されたときは、MDの誤消去防止孔が開いた状態になっています。録音するには、閉じた状態に戻してください。(P.25参照)

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
(お問い合わせ先　(社)私的録音補償金管理協会
Tel.03-5353-0336 Fax.03-5353-0337)

1 電源を入れる。

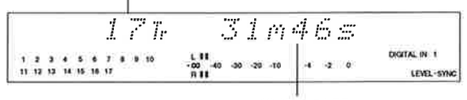
スタンバイインジケーターが消えます。

2 録音用のMDを入れる。



矢印の方向に差し込む

録音済みの曲数



総録音時間

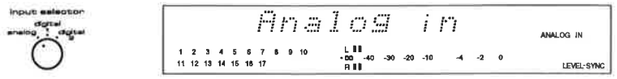
ヒント

録音できる残り時間を確かめるには

停止状態でディスプレイボタンを押すと、次のように表示が切り換わります。

- ディスクの総曲数と総再生時間
- ↓
- 録音可能な残り時間
- ↓
- ディスク名（なければ「No Title」）

3 「analog」を選ぶ。

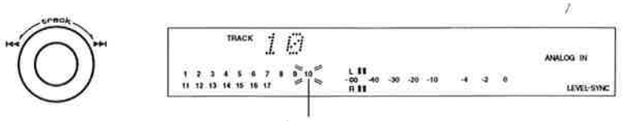


入力切り換えスイッチを「analog」に切り換えます。

ご注意

アンプのインプットセレクターやレックセレクターが録音ソースのポジションになっていることを確認してください。

4 録音開始位置を選ぶ。



点滅します

新しいMDや、録音済み部分に続けて録音する場合は、手順5に進んでください。

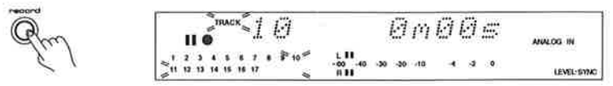
録音済み部分を消しながら録音するには

トラックつまみを回して、録音を開始する曲番を表示させます。その曲番から消しながら録音を始めます。

録音済みディスクのすべてを消して録音するには

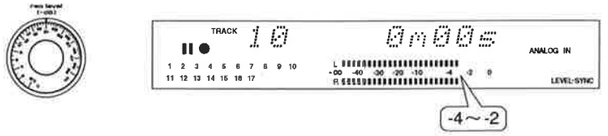
トラックつまみでTrack 1を選んで録音を始めるか、「ERASE DISC ?」でディスク内容をすべて消去してから録音を始めてください。(26ページ参照)

5 録音ソースの演奏を始め、録音待機状態にする。



録音ボタンを押します。
録音済み部分を消しながら録音するときはトラックインジケーターが点滅します。
録音済み部分に続けて録音するときには新しいトラックナンバーが表示されます。

6 録音レベルを調整する。

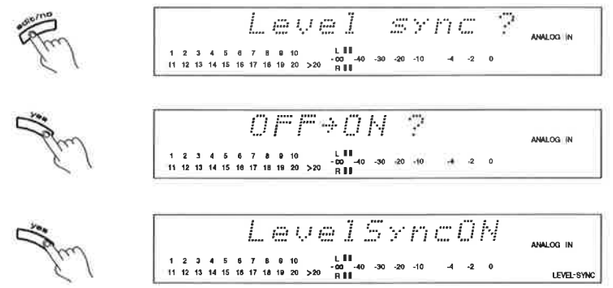


録音レベル調整の方法

録音レベルが最も大きいときに−4から−2の範囲で点灯するように調整してください。録音レベルが高すぎると、OVERが点灯します。

レベル調整後、録音ソースの演奏を止めます。

7 曲番を自動的に記録する。



レベルシンクインジケーターが点灯していないときは、次の手順でレベルシンクインジケーターを点灯させます。

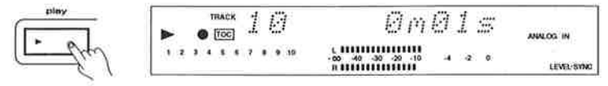
1 エディット/ノーボタンを押して、「Level sync ?」を表示させる。
2 イエスボタンを2回押して、「LevelSyncON」を表示させる。

ヒント

手動で曲番をつけるには

録音中に曲番をつけたいところで録音ボタンを押します。

8 録音を始める。



プレイボタンを押してから、録音ソースの演奏を始めます。
ディスクの最後まで録音すると停止します。

録音を一時停止するには

ポーズボタンを押します。再び録音を始めるには、プレイボタンを押します。

録音を止めるには

ストップボタンを押します。

MDを取り出すには

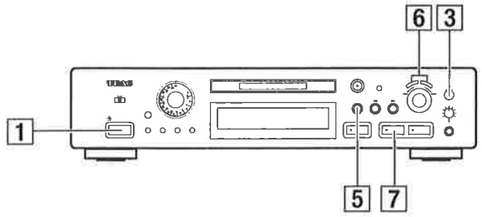
イジェクトボタンを押します。

ご注意

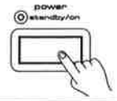
イジェクトボタンや電源ボタンを押して、「TOC」が点滅しているときは、録音した内容をMDに記録中です。この間は、電源プラグを抜いたり、本機を強くゆらしたりしないでください。正しく記録されないことがあります。

■デジタル入力を録音する

本機はサンプリング・レート・コンバーターを搭載しております。
デジタル録音できるサンプリング周波数は
44.1 kHz （CDなど）
32 kHz （DAT, 衛星放送など）
48 kHz（DAT, 衛星放送など）
です。

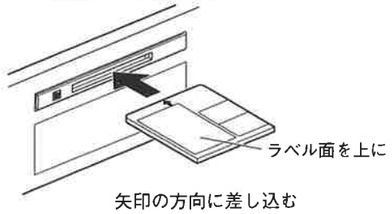


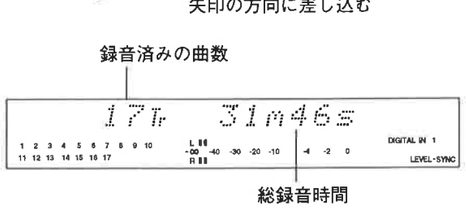
1 電源を入れる。



スタンバイインジケーターが消えます。

2 録音用のMDを入れる。





ヒント

録音できる残り時間を確かめるには
停止状態でディスプレイボタンを押すと、次のように表示が切り換わります。
- ディスクの総曲数と総再生時間
  ↓
- 録音可能な残り時間
  ↓
- ディスク名（なければ「No Title」）

3 「digital 1」または「digital 2」を選ぶ。

入力切り換えスイッチを次のように切り換えます。
digital 1：デジタル入力端子1(DIGITAL IN 1)に接続したソース機器から録音するとき
digital 2：デジタル入力端子2(DIGITAL IN 2)に接続したソース機器から録音するとき

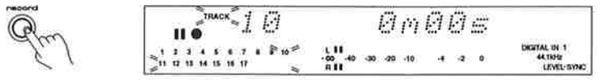
4 録音開始位置を選ぶ。

新しいMDや、録音済み部分に続けて録音する場合は、手順5に進んでください。

録音済み部分を消しながら録音するには
トラックつまみを回して、録音を開始する曲番を表示させます。その曲番から消しながら録音を始めます。

録音済みディスクのすべてを消して録音するには
トラックつまみでTrack1を選んで録音を始めるか、「ERASE DISC ?」でディスク内容をすべて消去してから録音を始めてください。(26ページ参照)

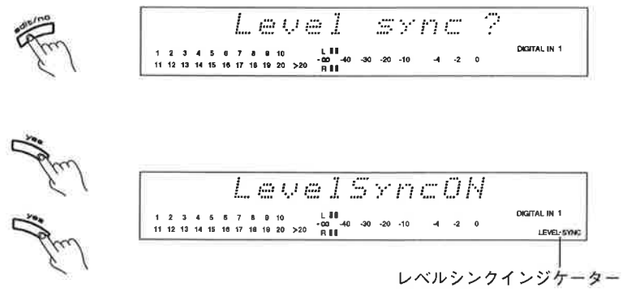
5 録音待機状態にする。



録音ボタンを押します。
録音済み部分を消しながら録音するときはトラックインジケーターと曲番表示部の上書きされるトラックナンバーが点滅します。

「D-IN UNLOCK!」と表示されたらデジタル入力信号が正常につながっていません。接続を確認してください。

6 曲番を自動的に記録する。



録音ソースがCDまたはMDの場合は、手順7に進んでください。曲番は自動的につきます。

ご注意

曲番を自動的につけるには、デジタル信号の中に含まれている曲の初めと終わりを認識させるための信号が必要です。機器の中にはこの信号を出さない製品があります。この場合、曲番は自動的につきません。LevelSyncを使用してください。

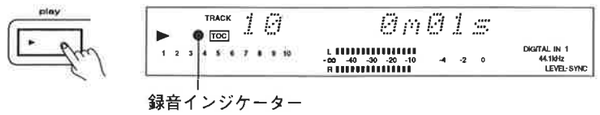
CD、MD以外のデジタル録音ソースでは
レベルシンクインジケーターが点灯していないときは、次の手順で点灯させます。

1 エディット/ノーボタンを押して、「Level sync ?」を表示させる。
2 イエスボタンを2回押して、「LevelSyncON」を表示させる。

ヒント

手動で曲番をつけるには
録音中に曲番をつけたいところで録音ボタンを押します。

7 録音を始める。



プレイボタンを押してから、録音ソースの演奏を始めます。

録音を一時停止するには
ポーズボタンを押します。再び録音を始めるには、プレイボタンを押します。

録音を止めるには
ストップボタンを押します。

録音結果をすぐに確かめるには
録音を止めたあと、すぐにプレイボタンを押すと、録音を始めた位置から再生が始まります。MDの初めから再生するには、録音を止めたあともう一度ストップボタンを押してからプレイボタンを押してください。

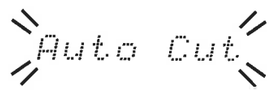
MDを取り出すには
イジェクトボタンを押します。

ご注意

イジェクトボタンや電源ボタンを押して、「TOC」が点滅しているときは、録音した内容をMDに記録中です。この間は、電源プラグを抜いたり、本機を強くゆらしたりしないでください。正しく記録されないことがあります。

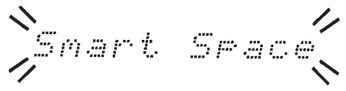
■デジタル入力録音時の便利な機能

「Auto cut」が表示されたときは



デジタル入力録音中、30秒以上の無音部分が続くと、本機は自動的に約5秒間の無音部分だけを残して、録音待機状態になります。
再度録音を続けるには、プレイボタンを押します。

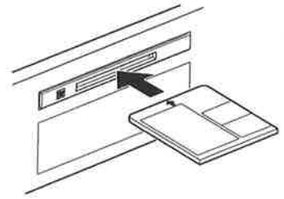
「Smart Space」が表示されたときは



デジタル入力録音中、30秒未満の無音部分が続くと、本機は自動的に約5秒間の無音部分だけを残して、次の入力信号の録音を続けます。

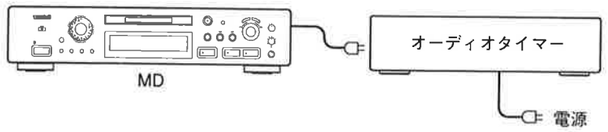
■タイマー再生やタイマー録音をするには（オーディオタイマー）

1 録音または再生用MDを入れる。



2 「rec」または「play」を選ぶ。

3 電源プラグをタイマーにつなぐ。



市販のオーディオタイマーを使用してください。
オーディオタイマーで録音したときには

- TOCの書き込みや読み込みのため録音開始まで時間がかかることがありますので、タイマーの開始時間を1分程度は早めにセットしてください。
- 録音後、タイマーがオフしてから通電されない状態が約2週間続くと、タイマー録音した内容が消えてしまうことがあります。**2週間以内に必ず本機を通電状態にしてください。**
- タイマー録音のときは、すでに録音されている内容に続けて録音されます。
- タイマー録音中にMDの残り時間がなくなったときは、その時点で録音を中止して、スタンバイ状態となります。

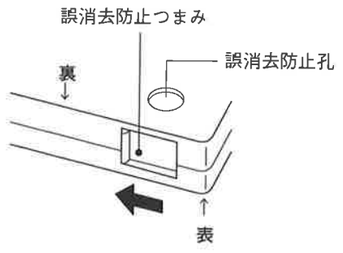
オーディオタイマーの設定方法はタイマーの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

電源プラグをオーディオタイマーやアンプなどのスイッチ連動コンセントに差し込んでご使用になるときは、MDを挿入後、TOC Reading表示が消えてから電源スイッチを切ってください。

■録音した内容を誤って消さないために

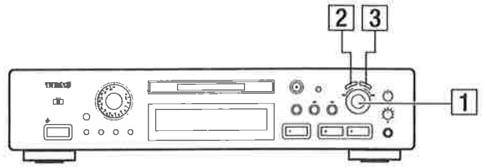
録音を禁止するには、MDの誤消去防止つまみをずらして、孔を開いた状態にします。
再び録音するには、つまみを元に戻します。



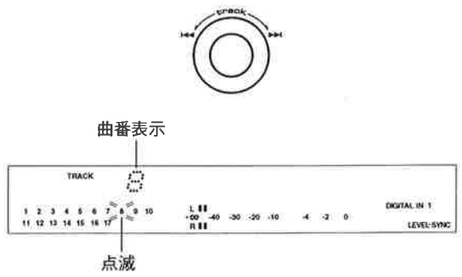
編集をする

編集は、ノーマル再生または停止中に操作できます。

■曲を消す（ERASE機能）



1 消したい曲番を選ぶ。



トラックつまみを回して、消したい曲番を選びます。

ヒント

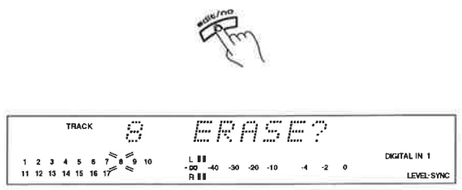
全曲を消すには

次のように操作します。

1 停止状態でエディット/ノーボタンを繰り返し押して、「ERASE DISC ?」と表示させる。
2 イエスボタンを押す。「Sure ?」と表示する。
3 もう一度イエスボタンを押す。

全曲消去が完了すると「Complete」と表示されます。

2 「ERASE?」と表示させる。

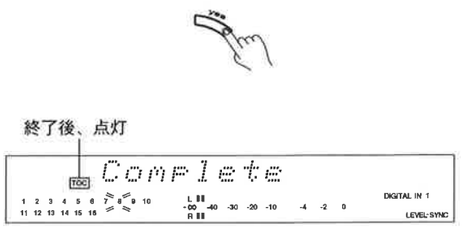


エディット/ノーボタンを繰り返し押して、「ERASE?」と表示させます。

ERASEを中止するには

もう一度、エディット/ノーボタンを押すかストップボタンを押します。

3 選んだ曲を消す。



イエスボタンを押すと、選んだ曲が消去されます。消去が完了すると、「Complete」と表示されます。

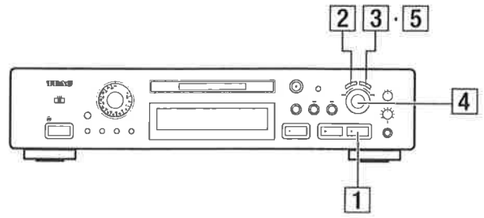
ヒント

消去した曲以降の曲番は、1つずつ繰り上がります。(たとえば、2曲目を消すと、3曲目が2曲目になり、4曲目が3曲目になります。)

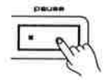
ご注意

- 「Protected !!」と表示されたときは、MDが誤消去防止状態です。編集するには、誤消去防止孔を閉じた状態に戻してください。
- 「TOC」点滅中は、本機をゆらしたり、電源プラグをコンセントから抜かないでください。

■曲を分ける（DIVIDE機能）



1 再生中に分けたい位置で一時停止にする。

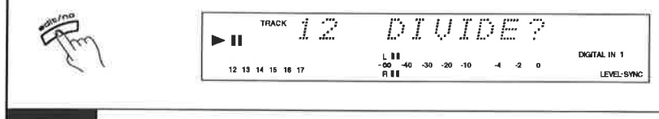


ポーズボタンを押します。

ヒント

曲の一部を消去するには 曲を分けてから消去してください。(消去の手順は、前ページをご覧ください。)

2 「DIVIDE?」と表示させる。



エディット/ノーボタンを繰り返し押して、「DIVIDE?」と表示させます。

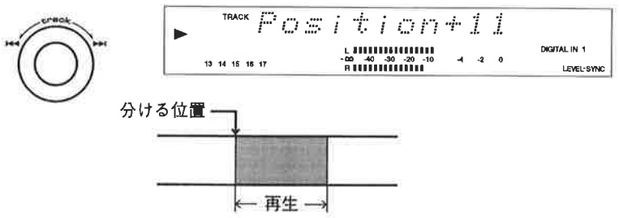
DIVIDEを中止するには

もう一度エディット/ノーボタンを押すか、ストップボタンを押します。

3 イエスボタンを押す。

イエスボタンを押すと、「Rehearsal」と「Point OK ?」が交互に表示され、分ける部分が繰り返し再生されます。

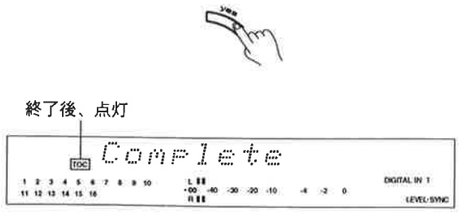
4 分ける位置を微調整する。



分ける位置を微調整するには

再生音を聞きながら、トラックつまみを回します。その曲の中で-128から+127まで移動できます。（±1は約0.06秒）

5 曲を分ける。



イエスボタンを押すと、選んだ曲が分割されます。分割が完了すると、「Complete」と表示されます。

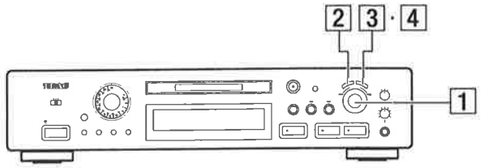
ヒント

分割した曲以降の曲番は、1つずつ繰り下がります。(たとえば、2曲目を2曲目と3曲目に分けると、3曲目が4曲目になり、4曲目が5曲目になります。)

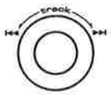
ご注意

- 「Protected !!」と表示されたときは、MDが誤消去防止状態です。編集するには、誤消去防止孔を閉じた状態に戻してください。
- 「TOC」点滅中は、本機をゆらしたり、電源プラグをコンセントから抜かないでください。

■ 曲をつなぐ（COMBINE機能）



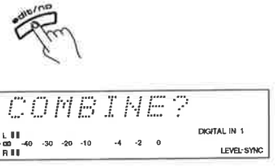
1 つなぐ曲番を選ぶ。（1つ前の曲とつながる）



トラックつまみを回して、つなぐ曲番を表示させます。

- 選んだ曲番の曲が、1つ前の曲とつながります。
- 両方の曲にタイトルがついている場合は、前の曲のタイトルが残ります。

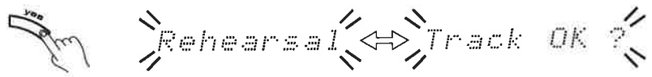
2 「COMBINE?」と表示させる。



エディット/ノーボタンを繰り返し押して、「COMBINE?」と表示させます。

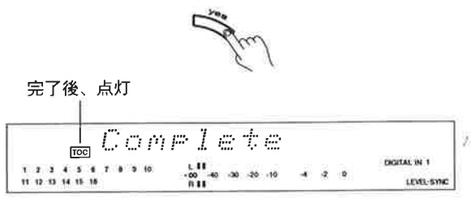
COMBINEを中止するには
もう一度、エディット/ノーボタンまたはストップボタンを押します。

3 つなぐ位置を確認する。



イエスボタンを押すと、「Rehearsal」と「Track OK ?」と交互に表示され、つなぎ目の部分が繰り返し再生されます。

4 曲をつなぐ。



イエスボタンを押すと、選んだ曲がつながります。結合が完了すると、「Complete」と表示されます。

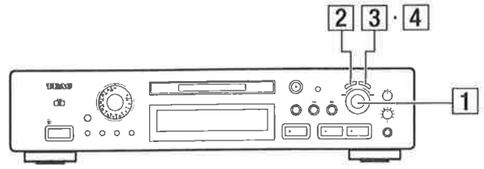
ヒント

結合した曲以降の曲番は、1つずつ繰り上がります。（たとえば、2曲目と3曲目をつなぐと、4曲目が3曲目になり、5曲目が4曲目になります。）

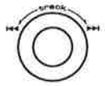
ご注意

- 「Protected !!」と表示されたときは、MDが誤消去防止状態です。編集するには、誤消去防止孔を閉じた状態に戻してください。
- 「TOC」点灯・点滅中は、本機をゆらしたり、電源プラグをコンセントから抜かないでください。

■ 曲を移動する（MOVE機能）

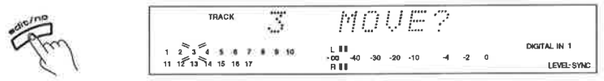


1 移動する曲番を選ぶ。



トラックつまみを回して、移動する曲番を表示させます。

2 「MOVE?」と表示させる。



エディット/ノーボタンを繰り返し押して、「MOVE?」と表示させます。

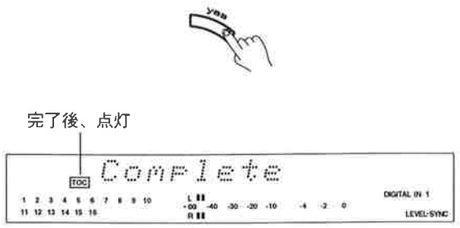
MOVEを中止するには
もう一度、エディット/ノーボタンを押すか、ストップボタンを押します。

3 移動先の曲番を選ぶ。

イエスボタンを押すと、移動する曲番と移動先の曲番が表示されます。

移動先を選ぶには
トラックつまみを回して、移動先の曲番を選びます。

4 曲を移動する。



イエスボタンを押すと、移動が実行されて、

「Complete」と表示されます。

ヒント

- 移動後の曲番は、移動した曲の曲番を基準に、改めて連続してつけ直されます。（たとえば、3曲目を1曲目に移動すると1曲目が2曲目になり、2曲目が3曲目になります。）
- 再生中に移動すると、移動した曲が再生されます。

ご注意

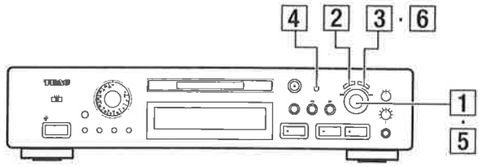
- 「Protected !!」と表示されたときは、MDが誤消去防止状態です。編集するには、誤消去防止孔を閉じた状態に戻してください。
- 「TOC」点灯・点滅中は、本機をゆらしたり、電源プラグをコンセントから抜かないでください。

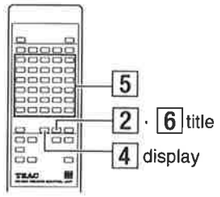
タイトルをつける

■曲名やディスク名をつける

ヒント

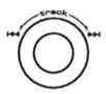
ディスク名をつけるには
停止状態で操作します。
曲名をつけるには
停止中、一時停止中、再生中、録音中に操作します。





(再生中、録音中に曲番が変わると、入力中の文字はキャンセルされます。)
一度に入力できる文字数は100文字までです。

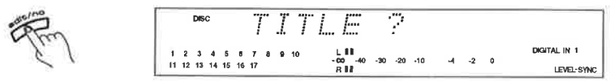
1 タイトルをつける曲番を選ぶ。



ディスク名をつけるには
そのまま手順2から操作します。

曲名をつけるには
トラックつまみでタイトルをつける曲番を表示させます。(再生中、一時停止中、録音中にタイトルをつけるときは、現在表示されている曲番にタイトルがつきます。)

2 「TITLE ?」と表示させる。

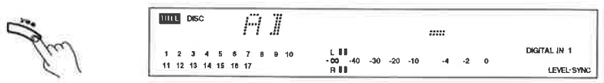


エディット/ノーボタンを繰り返し押して、「TITLE ?」と表示させます。

リモコンでは
タイトルボタンを押します。

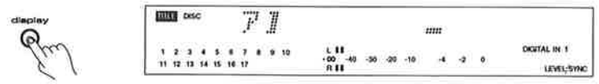
曲名をつけるときは、TRACK表示が点灯します。

3 イエスボタンを押す。



カーソルが点滅します。

4 入力したい文字の種類を選ぶ。

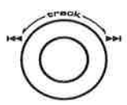


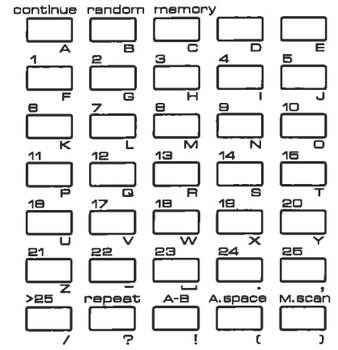
ディスプレイボタンを押すたびに、入力する文字の種類が次のように切り換わります。

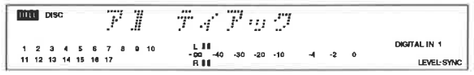
アルファベット大文字(表示:A)
↓
アルファベット小文字(表示:a)
↓
英数字記号(表示:1)
↓
カタカナ(表示:ア)
↓
カンタンタイトル(表示:♪)(31ページ参照)

リモコンでは
ディスプレイボタンを押して表示を切り換えます。

5 タイトルを入力する。







トラックつまみを回して文字を選び、トラックつまみを押します。2文字目以降も続けてトラックつまみで選びます。

文字の種類を変更して入力するには
手順4に戻って文字の種類を変更してから、トラックつまみを回して文字を選び、トラックつまみを押します。

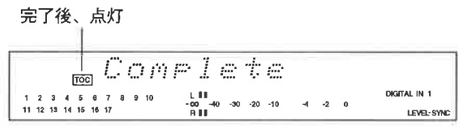
リモコンでは
- 数字(1~9、0は10で入力)、アルファベットの大文字と小文字、記号(ボタンの下に書かれているもの)が直接入力できます。
  リモコンの⏮、⏭ボタンを押して文字を選ぶこともできます。エンターボタンか▶▶ボタンで入力します。
- カタカナ入力するには、P.33のローマ字変換表にしたがって入力してください。

文字を修正するには
◀◀または▶▶ボタンを押して間違えた文字を点滅させ、改めて入力します。

文字を挿入するには
◀◀または▶▶ボタンで挿入する位置を点滅させます。次にトラックつまみを左へ回して▶◀を点滅させ、そのまま押すとカーソルが点滅しますので改めて文字を入力します。

文字を削除するには
◀◀または▶▶ボタンを押して削除する文字を点滅させ、エディット/ノーボタンまたはリモコンのクリアボタンを押します。

6 入力を終了する。



イエスボタンを押します。

リモコンでは
タイトルボタンを押します。

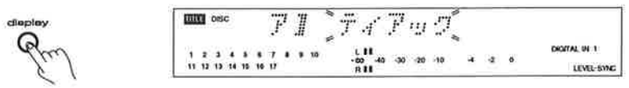
カンタンタイトル一覧

BALLAD	VOCAL	Collection
BLUES	African	Favorite
CLASSIC	American	Happy
DANCE	Asian	Heavy
FUSION	British	Hit songs
JAZZ	Euro	Omnibus
LIVE	German	Selection
POPS	Japanese	Special
REGGAE	Anthology	Super
ROCK	Best of	スペース(␣)
SOUL	(of の後ろにスペース	
TECHNO	1つあり)	

ディスプレイボタンを押して♪を表示させ、トラックつまみで選択します。

■曲名やディスク名をつけ直す

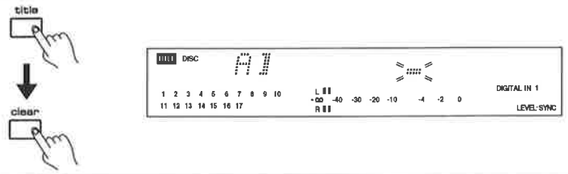
1 曲名やディスク名を表示させる。



ディスク名を表示させるには
停止状態で、ディスプレイボタンを押します。

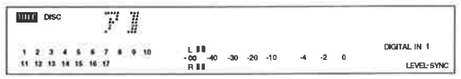
曲名を表示させるには
停止状態で、トラックつまみでタイトルをつける曲番を表示させます。(再生中、一時停止中は、現在表示されているタイトルを変更します。)

2 曲名やディスク名を消す。



リモコンのタイトルボタンを押してから、クリアボタンを繰り返し押して、すべての文字を消します。

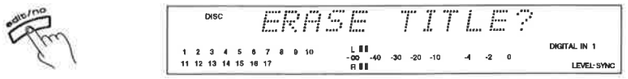
3 改めて曲名やディスク名をつける。



「曲名やディスク名をつける」（30ページ）の手順4～6の操作を行います。

■すべての曲名とディスク名を消す（ERASE TITLE機能）

1 「ERASE TITLE?」と表示させる。



停止中にエディット/ノーボタンを繰り返し押して、「ERASE TITLE?」と表示させます。

ご注意
いったん消すと、元に戻せません。

2 イエスボタンを押す。

すべての曲名とディスク名が消えます。
- 「TOC」点灯、点滅中は本機をゆらしたり、電源プラグをコンセントから抜かないでください。

■リモコンでカタカナを入力するには

アルファベットの組み合わせで、ローマ字入力します。

ローマ字・カタカナ対応表

ア	ア A	イ I	ウ U	エ E	オ O
カ	カ KA	キ KI	ク KU	ケ KE	コ KO
	キャ KYA	キィ KYI	キュ KYU	キェ KYE	キョ KYO
サ	サ SA	シ SI SHI	ス SU	セ SE	ソ SO
	シャ SYA SHA	シィ SYI	シュ SYU SHU	シェ SYE SHE	ショ SYO SHO
タ	タ TA	チ TI CHI	ツ TU TSU	テ TE	ト TO
	チャ TYA CYA CHA テャ THA	チ TYI CYI ティ THI	チュ TYU CYU CHU テュ THU	チェ TYE CYE CHE テェ THE	チョ TYO CYO CHO テョ THO
ナ	ナ NA	ニ NI	ヌ NU	ネ NE	ノ NO
	ニャ NYA	ニィ NYI	ニュ NYU	ニェ NYE	ニョ NYO
ハ	ハ HA	ヒ HI	フ HU FU	ヘ HE	ホ HO
	ヒャ HYA ファ FA フャ FYA	ヒィ HYI フィ FI フィ FYI	ヒュ HYU フュ FYU	ヒェ HYE フェ FE フェ FYE	ヒョ HYO フォ FO フョ FYO
マ	マ MA	ミ MI	ム MU	メ ME	モ MO
	ミャ MYA	ミィ MYI	ミュ MYU	ミェ MYE	ミョ MYO
ヤ	ヤ YA	イ YI	ユ YU	イェ YE	ヨ YO
ラ	ラ RA	リ RI	ル RU	レ RE	ロ RO
	リャ RYA	リィ RYI	リュ RYU	リェ RYE	リョ RYO
ワ	ワ WA	ウィ WI	ウ WU	ウェ WE	ヲ WO
ン	ン NN	ン* N			

ガ	ガ GA	ギ GI	グ GU	ゲ GE	ゴ GO
	ギャ GYA	ギィ GYI	ギュ GYU	ギェ GYE	ギョ GYO
ザ	ザ ZA	ジ ZI JI	ズ ZU	ゼ ZE	ゾ ZO
	ジャ JYA ZYA JA	ジィ JYI ZYI	ジュ JYU ZYU JU	ジェ JYE ZYE JE	ジョ JYO ZYO JO
ダ	ダ DA	ヂ DI	ヅ DU	デ DE	ド DO
	ヂャ DYA デャ DHA	ヂィ DYI ディ DHI	ヂュ DYU デュ DHU	ヂェ DYE デェ DHE	ヂョ DYO デョ DHO
バ	バ BA	ビ BI	ブ BU	ベ BE	ボ BO
	ビャ BYA	ビィ BYI	ビュ BYU	ビェ BYE	ビョ BYO
パ	パ PA	ピ PI	プ PU	ペ PE	ポ PO
	ピャ PYA	ピィ PYI	ピュ PYU	ピェ PYE	ピョ PYO
ヴァ	ヴァ VA	ヴィ VI	ヴ VU	ヴェ VE	ヴォ VO
ァ	ァ LA	ィ LI	ゥ LU	ェ LE	ォ LO
ャ	ャ LYA		ュ LYU		ョ LYO
ッ	ッ LTU 後ろに子音を2つ続けます [例] ダッタ…DATTA				

* "ン" はNに続いて子音（K、T、P、S、Z、J、D、など）がくれば "ン" となります。

メッセージ一覧

お使いになっているとき、状況により、英語のメッセージが出ます。日本語の意味は下の表のとおりです。

メッセージ	意味
Blank Disc	購入したばかりの録音用MD、または全曲を消去した録音用MDが入っている。
Cannot Copy	デジタル録音できない状態になっている(「デジタル録音時のルールについて」37ページ参照)。
Cannot EDIT!	PROGRAM, RANDOM演奏のモードで編集しようとした。 MDの1曲目やつなぐことのできない曲をつなごうとした。
Disc Error !	異常な(損傷している、TOCが入っていない)MDが入っている。
Disc Full !!	MDの残り時間がないため、録音できない(「システム上の制約について」36ページ参照)。
Name Full !!	入っている曲名とディスク名が最大値に達した。1792文字しか入れることができない。
NO DISC	MDが入っていない。
No Track	曲は入っていないが、ディスク名だけが付いているMDが入っている。
Protected !!	MDが誤消去防止状態になっている。
Retry	録音中、振動やMDの傷があったので、記録し直している。
Rec Error !!	録音中、振動やMDの傷がいくつもあったため、記録し直したが、正常に録音できなかった。
Disc Erase!!	エラーのあるディスクに録音しようとした。
D-IN UNLOCK!	デジタル入力信号が正常につながっていない。接続されたデジタル機器（CDプレーヤーやDATなど）が正常に動作していない。

「Disc Error !」と表示されても、録音できる場合があります。録音ボタンを押して「Disc Erase!!」と表示されたらもう一度録音ボタンを押してください。

故障？と思ったら

本機が正常に動作しないときは、この表を参考にしてお調べください。本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズまた、静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて、約5秒後にあらためて電源プラグを差し込んでください。またシステムの接続は確実に行ってください。これらの処理をしても直らないとき、これ以外の症状のときは、電源コードをコンセントから抜いて「お名前」「おところ」「電話番号」「型名」「故障状況」をできるだけ詳しくお買い上げいただいたお店、または当社サービスセンターまでご連絡ください。

症状	原因	処置
操作を受けつけない	・ディスクが汚れている、または損傷している。（「Disc Error !」表示が出る。）	・新しいディスクと取り替えてください。（11ページ参照）
再生できない	・結露(内部に水滴が付着)している。	・ディスクを取り出して、そのまま数時間置いてください。（13ページ参照）
	・電源が入っていない。	・電源を入れてください。
	・ディスクを逆向きに差し込もうとしている。	・ディスクの矢印の向きに合わせて差し込んでください。（12ページ参照）
	・何も録音されていないディスクが入っている。（曲番（トラックナンバー）表示が出ない。）	・録音されているディスクと取り替えてください。
録音できない	・ディスクが誤消去防止状態になっている。（「Protected !!」表示が出る。）	・ディスクの誤消去防止つまみをもどして孔を閉じます。（25ページ参照）
	・音源と正しく接続されていない。	・接続し直してください。
	・アナログ入力時に録音レベルが小さすぎる。	・録音レベルつまみで録音レベルを調節します。
	・演奏専用ディスクが入っている。	・録音用ディスクと取り替えてください。
	・ディスクの残り時間がない。	・残り時間が充分ある録音用ディスクと取り替えてください。または、不要な曲を消してください。
	・録音中に電源コードが抜かれた、または停電になった。	・それまでの録音の内容は失われる恐れがあります。はじめから録音し直してください。
	・オーディオ用光デジタルケーブルが接続されていない。	・オーディオ用光デジタルケーブルを正しく接続してください。（8、23ページ参照）
	・入力切り換えスイッチが正しい位置になっていない。	・入力切り換えスイッチは工場出荷時には「digital」になっています。正しい位置に切り換えてください。(20、22ページ参照)
雑音が多い	・テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。	・テレビなどから充分離して置いてください。

システム上の制約について

MD（ミニディスク）システムは、従来のカセットやDATとは異なる方式で録音が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

● **最大録音可能時間（60分、74分）に達していなくても、「Disc Full !!」が表示される。**
MDシステムでは、時間に関係なく、曲数がいっぱいになると「Disc Full !!」の表示が出ます。255曲以上は録音できません。さらに曲を追加するには、不要な曲を消すか、2枚目のMDに分けて録音してください。

● **曲数にも録音時間にも余裕があるのに、「Disc Full !!」が表示される。**
曲中にエンファシス情報などの入切が多く行われると、曲の区切りと同じ扱いになり、時間や曲数に関係なく「Disc Full !!」の表示が出ます。

● **短い曲を何曲消してもMDの残り時間が増えない。**
MDの残り時間を表示するとき、12秒以下の部分は無視するので、短い曲を消しても時間が加算されないことがあります。

● **つなぐことができない場合がある。**
編集を行ってできた曲は、つなぐことができない場合があります。

● **MDに録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間（60分、74分）に一致しない場合がある。**
通常、1クラスタ（約2秒）が最小単位で録音されます。それに満たないものでも2秒分のスペースを使います。このため、実際に使用できる時間は少なくなります。
また、MDに傷があると、その部分を自動的に削除するので、その分の時間が減ります。

● **編集でできた曲でサーチを行うと、音が途切れることがある。**

● **曲番が正確につかないことがある。**
デジタル接続でCDを録音するとき、CDの録音内容によって、短い曲ができる場合があります。
また、LevelSyncONで自動的にトラックマーキングを行った場合、録音するものの内容によっては、曲番が正確につかない場合があります。

● **「TOC Reading」の表示がなかなか消えない。**
購入したばかりの録音用MDを入れると、通常より「TOC Reading」表示が長く表示されます。

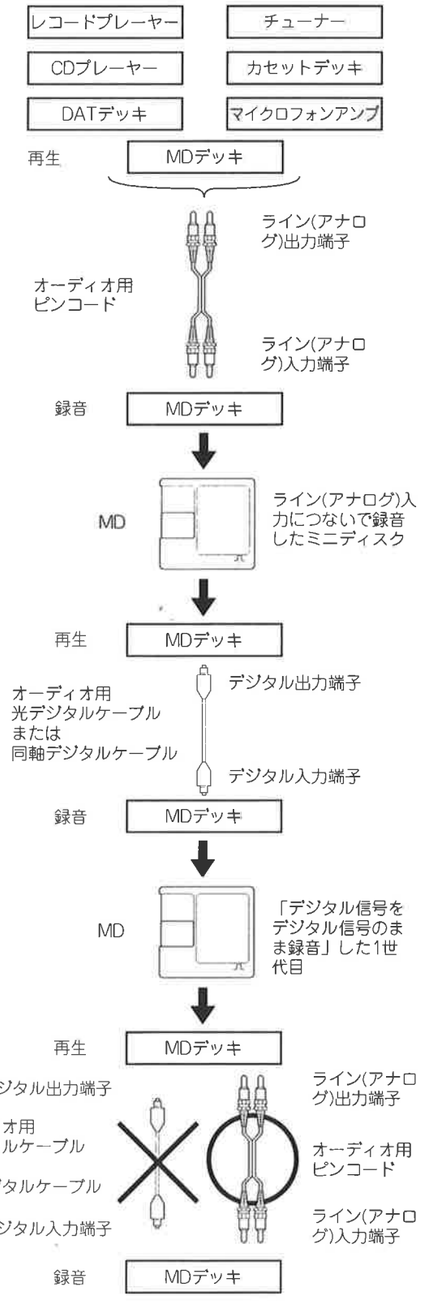
デジタル録音時のルールについて

シリアルコピーマネージメントシステム

デジタル入力で録音したMDをさらにデジタル録音することはできません。本機は、シリアルコピーマネージメントシステムの規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。「シリアルコピーマネージメントシステム」は、各種デジタルオーディオ機器の間で、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」するというデジタル信号どうしのコピーを「1世代まで」と規制したもので、3つの原則があります。

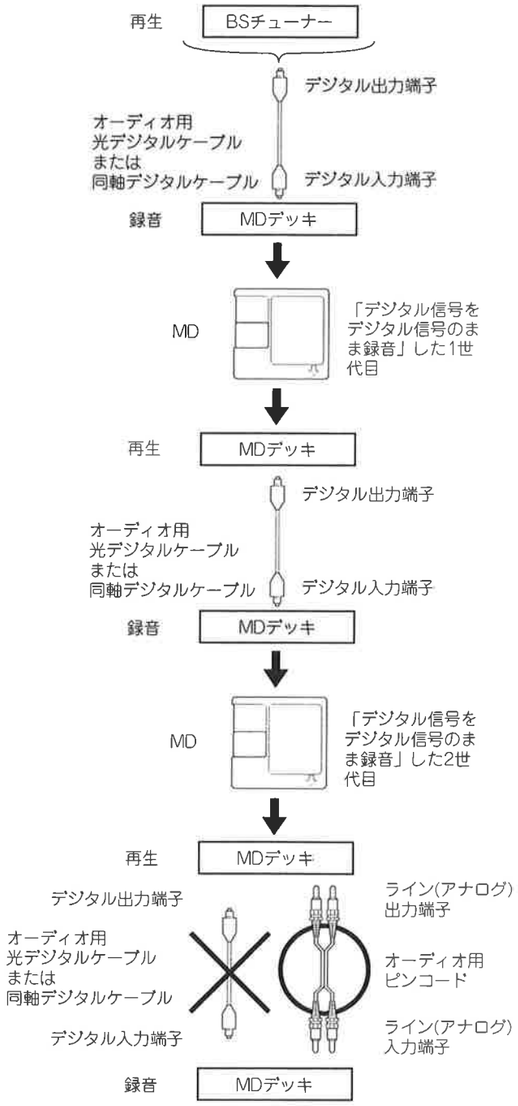
原則1
コンパクトディスク（CD）またはデジタルオーディオテープ（DAT）、ミニディスク（MD）ソフトから、MDへ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できます。
ただし、1度「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」したものを、他のMDへ、「デジタル信号のままデジタル録音」できません。

原則2
アナログレコードやFM放送などを本機で録音したMDから、他のMDへ、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」することができます。ただし、1度「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」したミニディスクから、他のミニディスクへ、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できません。



デジタル録音時のルールについて

原則3
DATデッキまたは32kHz、48kHzのサンプリング周波数に対応するMDデッキの場合、衛星放送のデジタル音声信号も、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できます。
この場合は、2世代目も「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できます。ただし、BSチューナー（衛星放送受信機）によっては、2世代目ができないことがあります。



主な仕様

形式	：ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式	：磁界変調オーバーライト方式
再生読み取り方式	：非接触光学読み取り
録音再生時間	：最大74分
回転数	：約400 rpm ～ 900 rpm （CLV）
サンプリング周波数	：44.1 kHz
チャンネル数	：2 ch.（ステレオ）
周波数特性	：10 Hz ～ 20 kHz
SN比	：再生時　103 dB以上
出力レベル	：2 Vrms
電源	：AC100V　50-60 Hz
消費電力	：14 W
最大外形寸法(巾×高さ×奥行き)	：442 x 101 x 318 mm
質量	：4.8kg

保証とアフターサービス

■ 保証書

・この商品には、保証書を別途添付しております。
・保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
・保証期間は、お買上げ日から1年です。

■ 補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後8年です。
この期間は通商産業省の指導によるものです。

■ ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買上げの販売店または最寄りの当社サービスセンター（裏表紙に記載）にお問い合わせください。

■ 修理を依頼されるときは

「故障？と思ったら」に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店または最寄りの当社サービスセンターにご連絡ください。なお、ミニディスクデッキ本体の故障もしくは不具合により発生した、付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

・品　　名：ミニディスクデッキ
・型　　名：MD-8
・お買上げ日：
・故障の状況：できるだけ具体的に
・ご 住 所：
・お 名 前：
・電話番号：